

目指す学校像	確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人財を育てる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、心身ともに健全で思いやりのある生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携し、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	9名

学校自己評価					令和5年度評価(3月5日現在)		
年度目標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
1	<p>現状</p> <p>生徒の多くが積極的に授業に取り組んでおり授業内容を概ね理解している。保護者においては、本校の資格取得を中心とした学力向上への期待は高い。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 新教育課程の段階的实施及び検証。 学力の定着を図るための工夫。 ICTを活用した授業の工夫。 	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を育てる授業の実現 検定合格者数 効果的なICTの利活用 	<ol style="list-style-type: none"> 「学ぶ力」を定着させる生徒主体の授業を行い、自ら学ぶ姿勢を育てる。 資格取得の奨励などにより学習の動機付けを行い、より高度な資格取得を目指す。 デスクトップPCやタブレットを利用し、デジタル教材や動画等を活用する授業展開を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業への取組状況や理解度等。(生徒アンケート) 各種検定の取得状況や生徒の満足度等。(普通教科も含む) 授業におけるコンピュータやタブレット等のICT機器利用の取組状況等 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の88%が「授業の内容を理解できている」また、85%は「先生の説明はわかる」と回答している。 日本商工会議所の簿記検定2級に4名合格、応用情報技術者試験に1名、基本情報技術者試験に17名合格。授業全般について89%が「満足している」と回答している。 Google ClassroomやGoogle Formsを活用した課題やテスト問題の出題を行っている。 	a	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の授業への理解度が昨年度より減少している。1年次の授業理解度を向上させるための授業改善を行っていく。 生徒の理解度を向上させるためにICTを効果的に活用できる環境づくりを行う。
2	<p>現状</p> <p>自転車のマナーについて地域から多くの苦情が寄せられた。登校時の自転車事故も多い状況がある。登下校時の服装のマナーが守れていない状況がある。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全に関する指導及び原付自転車による通学の環境整備。 登下校時の服装指導について検討。 	<ol style="list-style-type: none"> 自転車等の交通マナーの向上及び交通事故の減少 登下校時や校内での服装マナーの向上 	<ol style="list-style-type: none"> 交通安全指導や講演会等とおして、自転車等の交通マナーと意識の向上を図る。 該当する分掌を中心に全職員で協力し、登下校時や校内の服装マナーの向上を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 交通マナーの状況把握(生徒アンケート)と交通事故の件数等。 登下校時や校内での服装マナーの状況把握(生徒アンケート)と保護者や地域住民からの評価等。 	<ol style="list-style-type: none"> 大きな事故にはつながっていないが、交通事故件数が増加している。車との接触事故等の報告件数が14件で、特に1年生の事故が多い。 服装指導に取り組んではいるが、学校外でのスカート下のジャージ着用について指導して欲しいと保護者からの意見がある。 	b	<ul style="list-style-type: none"> 1年生への交通安全指導を充実させ事故件数を減少させる。 登下校中の服装についての指導を重点的にを行い、保護者及び地域住民からの評価を向上させる。
3	<p>現状</p> <p>進路情報が保護者へ適切に周知されており、生徒の進路希望の満足度も高く、進路決定率も100%である。四年制大学への進学や公務員等への就職も着実に増えている。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年次からの進路意識の改善。 手帳の活用状況の向上。 キャリアノートの活用状況の向上。 	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス機能の強化 手帳の活用 キャリアノートの活用 	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス等において外部講師を招いたキャリア教育を実践し、進路意識の向上を図る。 3年生の手帳活用事例等を1・2年生に周知し、手帳の活用を促す。 生徒の進路実現を支援するキャリアノートの活用を促す。 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会の実施状況や進路意識の向上等。 手帳の活用状況(生徒アンケート)と手帳の内容やフォーマットの改善等。 キャリアノートの活用状況等。(生徒アンケート) 	<ol style="list-style-type: none"> 外部の講師による進路指導についての講演を行うなど、ガイダンスや面接指導が十分に行われた。全体の92%が進路指導全般について「満足している」と回答している。 3年生では、キャリアノートを有効に活用していると回答した生徒が約半数あり、昨年より増加した。 	a	<ul style="list-style-type: none"> 3年生への「自分の進路が実現できたか」という問いに対し、95%ができたと回答している。また、保護者への「適切な指導を行っているか」という問いに約96%が「当てはまる」と回答しているため、今後もさらに充実した進路指導に取り組む。
4	<p>現状</p> <p>地域や企業と連携は行えている。深谷市のイベント等にも積極的に参加し、ホームページや広報誌を通して、情報を発信しているが、生徒募集に結びついていない。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生やその保護者に、本校の教育内容や商業の魅力の効果的に伝える工夫。 地域や企業、近隣学校の児童生徒や保護者等と連携した取組の検討。 PTA、後援会、同窓会と連携した取組の検討。 	<ol style="list-style-type: none"> 教育内容の効果的な情報発信 授業を通じた地域との連携 PTAとの連携と保護者への効果的な情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> HPの充実を図り、学校行事や特徴ある取り組みを中学生やその保護者へ積極的な情報発信を行う。 地域と協力しながら「渋沢栄一翁」の教えや功績を授業に活かし、地域と協働した授業展開を行う。 PTAや後援会・同窓会と連携しながら、保護者が安心できる学校環境づくりに努める。 	<ol style="list-style-type: none"> HPの情報発信状況と学校説明会や体験入学の満足度(アンケート)や参加状況等。 地域や企業との連携や地域に関係する行事、近隣学校との連携等。 PTAとの連携行事の満足度(保護者アンケート)や後援会・同窓会との連携行事等。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校説明会や体験入学の案内等の発信は十分に行うことができている。また、授業体験や在校生の体験談は中学生から好評であった。 地域の企業と連携し、文化祭で生徒とのコラボ商品を販売。また、渋沢栄一関連のイベント等に生徒が参加するなど地域と連携した取り組みが行えた。 PTA活動は学校と連携しながら改善されている。 	a	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会や体験授業に在校生を積極的に関わらせ、本校の特徴や魅力を生徒自身が中学生に伝えられる方法を検討する必要がある。 感染症対策の行われないう以前の状況に戻る中で、学校行事等へのPTAの積極的な参加の方法を検討する必要がある。

学校関係者評価	
実施日	令和6年3月11日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 全体的に生徒は落ち着いた学校生活を送っている様子である。先生方が尽力している様子をうかがい知ることができた。 運動部離れや図書の出数数の減少などの課題はアンケートなどで調査を行い、原因に応じた対応策を考えてはどうか。 資格取得で検定1級を2種目取得している生徒があと1種目取得できるようなサポートを積極的にお願したい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールの遵守について生徒指導部と生徒が共通認識のもと交通安全に取り組んでもらいたい。 SNSトラブル防止のための指導は大切であり、今後も継続していただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 進路のアンケートで、深谷商業に入学してよかったと回答した割合が94%であった。先生方の努力の結果であり、素晴らしい。 生徒アンケートでは、2年生のキャリアノートの活用状況が低いが、各学年でキャリア発達を促すような計画に基づいたキャリアノートが形成されるようになればよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 概ね評価できる。新たな取り組みに期待する。 渋沢栄一が新紙幣の肖像画となるが、深谷市のイベントと合わせて深谷商業で盛り上げてもらえるとうれしい。 生徒が授業で開発した商品を産業祭等で出品するなどの協力をお願いしたい。 	